



平成 30 年 6 月 22 日

**「第三世代が考えるヒロシマ『 』 継ぐ展 2018」に向けて
本学学生を対象にしたキックオフミーティングを6月25日に
開催します**

「第三世代が考えるヒロシマ『 』 継ぐ展 2018 広島サテライト会場」が、広島市中区東千田町の CLiP HIROSHIMA 1 階イベントスペース（7 月 29 日～8 月 5 日）と広島平和記念公園（8 月 6 日）で開かれます。

企画展に向けて本学の学生を対象にキックオフミーティングが6月25日に本学内で開催されます。

同展は、戦争を体験していない世代（第三世代）が、若い世代や親子連れに向けた平和学習の場所を提供し、「体験」を伴った参加型の形をとりながら、携わった人たちの自主性を促す学びの場をつくることを目的に開くイベントです。

30 代が中心となり運営し、本学や他県の大学の学生たちが企画・制作に参加しています。

本学は文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」（COC）に採択された「平和共存社会を育むひろしまイニシアティブ拠点」（平成 25 年度～平成 29 年度）への取り組みを契機に、広島平和記念資料館との間で包括的連携協定を締結し、広島から平和を発信する取り組みを進めています。本学では、必修授業の平和科目をベースに、平和記念資料館での能動的な作業を通じ、卒業後も国内外で被爆の実相を伝承・発信することができる人材育成を目指しており、このような立場からこのプログラムに協力しています。

「継ぐ展 2018」本展会場は、東京（2016・2017）・横浜（2016）を経て、2018 年は東北地方初の宮城県仙台市にあるせんだいメディアテーク（8 月 10 日～8 月 15 日）で行われます。

広島サテライト会場では、常設展やイベントを通して、広島の人たちが考える「平和へのアクション」を投票するコーナーを設け、展示の一部を仙台会場へ移動し、想いをつなげます。

サテライト会場の常設展は、学生たちが広島の被爆者や平和活動者に行ったインタビュー取材の内容をまとめたパネルなどを展示します。

また、イベントでは、7 月からスタートする TBS ドラマ「この世界の片隅に」の美術を担当する TBS テレビビジュアルデザインセンター 永田周太郎氏（2009 年広島大学工学研究科博士課程修了）のトークショー（8 月 3 日）などを行います。

本学学生を対象としたキックオフミーティングは、6 月 25 日（月）17:00 から東広島キャンパス内の la place（ラ・プラス / マーメイドカフェ広島大学店）で開催いたします。本学からのボランティア学生は、7 月 28 日から 8 月 6 日まで、CLiP HIROSHIMA で行われる広島会場内のイベント運営や設営を行うほか、灯ろう流し会場でボランティアを体験する予定です。

【継ぐ展 2018 広島サテライト会場実施概要】

●平和学習資料などの常設展示

- ・広島県・神奈川県・宮城県被爆者・伝承者へのインタビュー展示
- ・ヒロシマ関連絵本・書籍コーナー
- ・継ぐ展に参加しているスタッフの声
- ・継ぐ展の軌跡パネル、アーカイブ動画
- ・あなたにもできる平和へのアクション

●仮想空間へのとうろう流し

独自開発のアプリを使い、平和へのメッセージを込めたとうろうを ipad を使って仮想空間の川に流す。8月6日の広島とうろう流し会場へメッセージを届ける。

●参加型のイベント / ワークショップ

- ・8月3日（金）アニメ映画「この世界の片隅に」上映会
- ・8月3日（金）TBS テレビビジュアルデザインセンター 永田周太郎氏（2009年広島大学工学研究科博士課程修了）のトークショー
- ・8月4日（土）、5日（日）広島を学べるモチーフを組み合わせてオリジナルバックやTシャツをつくろう
- ・8月5日（日）被爆者 川本省三さんとの対話イベント「おりづると、ヒコーキ」～川本省三さんにきく、ヒロシマのはなし～

他

【平和共存社会を育むひろしまイニシアティブ拠点】

平成25年度「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」に採択され、広島地域の共通課題である「ひろしま平和発信」、「中山間地域・島しょ部（条件不利地域等）対策」、「障がい者支援」の3つの重点課題の解決に地域と連携して平成25年度から平成29年度まで取り組んでまいりました。

【お問い合わせ先】

ヒロシマ「」継ぐ展実行委員会

代表 久保田 涼子

Mail: tsuguten2018@gmail.com

TEL 080-1916-8638

発信枚数：A4版 2枚（本票含む）